



2022年3月30日

各 位

会社名 株式会社メドレックス
代表者名 代表取締役社長 松村 米 浩
(コード番号：4586 東証マザーズ)
問合せ先 取締役 藤岡 健
経営管理部長
(TEL. 03-3664-9665)

マイクロニードル技術を用いた共同研究契約締結のお知らせ

当社は、コロンビア大学アービング医療センター（米国、New York City）の辻研究室（感染症内科学）および菅原研究室（肝胆膵外科・がん研究センター）との共同研究契約を締結しましたのでお知らせいたします。この共同研究は、辻研究室で研究を進めている免疫賦活剤「7DW8-5」および菅原研究室で研究を進めている抗がんペプチド「iRGD」と当社のマイクロニードルアレイを組み合わせることにより、乳がんに対する抗がん作用の可能性を探るものです。当社マイクロニードル技術の特徴である簡便かつ確実な貼付・穿刺機能により、免疫賦活剤と抗がんペプチドを治療標的に局所的に簡便かつ確実に投与することができると期待されています。将来の乳がん患者への投与を視野に入れて共同研究に取り組んでまいります。

< 語句説明 >

- 7DW8-5 (a fluorinated phenyl ring-modified α GalCer analog)
糖脂質であり、ナチュラルキラーT細胞を強く刺激して抗腫瘍活性を持つことが知られています。
- iRGD (a cyclic peptide)
腫瘍細胞・組織に特異的に浸透するペプチドであり、がん細胞・組織に選択的かつ深部まで薬剤を送達できることが知られています。
- マイクロニードルアレイ
生体分解性樹脂等から成る数百 μ mの微小針の集合体であり、注射しか投与手段のないペプチド医薬品やワクチン等の無痛経皮自己投与を可能にし、またワクチンや免疫性疾患においては従来の注射剤と比べて高い免疫効果が期待される、有望な投与デバイスとして注目されています。当社のマイクロニードル技術は、鋭い針先と工夫された応力制御機構を持つアプリケーション（挿入器具）による「簡便で確実な投与」を特徴としています。

なお、本件が当社グループの2022年12月期業績に与える影響は軽微です。

以 上